

令和5年度第2回鹿児島市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定・管理委員会会議概要

- 1 日時 令和5年7月20日（木） 14時00分～15時45分
- 2 場所 鹿児島市教育総合センター2階 女性会館
- 3 出席者 鹿児島市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定・管理委員会委員20名

4 会次第

- (1) 開会
- (2) 報告
 - ① 8期計画の実施状況等について
 - ② 介護保険の状況等について
- (3) 議事
 - ① 日常生活圏域について
 - ② 基本的な目標と重点課題（案）について
 - ③ 施策の展開（案）について
 - ④ 介護保険サービスの見込量の基本的な考え方について
- (4) 閉会

5 審議の概要

(1) 報告について

○高齢者生きがい支援広報強化事業で隔年作成となっているのに3年度4年度に作成部数が計上されている理由。

⇒5年度から隔年作成としたため。

○輝きライフ等の冊子に、認知症の人が利用できるサービスについてのフローがついているか。

⇒現在の冊子にはフローは掲載していない。

○介護保険の実施状況で、認定申請件数と審査判定件数に約2,000件もの乖離がある理由。

⇒申請後に、介護リハビリではなく、医療リハビリを受けたい等の理由での取り下げがあるため。審査会に至るまでの間に取り下げがある。

○介護給付費等に関するモニタリングの被保険者数等の計画値は何を基に算出しているか。

⇒計画値はコーホート要因法に基づき算出している。

○お達者クラブを無くしてよかよか元気クラブを組織するものと考えていたが、お達者クラブを新たに新設していいのか。

⇒お達者クラブを無くすという考えはないため、新設していただいて構わない。

○高齢者健康づくり・生きがいづくり活動支援事業について、実績が少ないということで廃止されているが、そもそも事業を知らない人が多い。広報面に課題があったと思う。事業を廃止する際は、事前に相談してほしい。

⇒広報不足という指摘については、真摯に受け止め、今後の事業の進め方についてはご意見を参考にさせていただく。

○介護老人福祉施設について、9期においてはどのように推進していくのか。

⇒これまでの利用実績や入所待機者の状況、介護保険料への影響など、実態を考慮しながら必要数を確保していくとしている。

(2) 議事資料について

◆基本的な目標と重点課題（案）について

○基本的な目標の2と3が重複しているので、3の認知症対策のほうは、現状と課題に合わせて違う表現にしてはどうか。

⇒ご指摘のとおりなので、表現を検討し、変更する。

◆施策の展開（案）について

○高齢者が安心して暮らせるまちづくりの具体的取組として消費者被害の未然防止が掲載されていることについて、掲載されている事業に高齢者に特化した事業はないと思うが、ここに位置づけるものなのか。

⇒持ち帰って、検討する。

○地域包括ケアを考えるうえで地域ケア会議の開催については重要だと考えているが、9期計画ではどういった会議を展開していくのか。

⇒地域ケア会議は、地域包括ケアを推進するうえで重要なものであり、今後も引き続き、地域の現状や課題の把握、地域とのネットワーク構築を図るため、着実に開催していきたい。

○地域の実情に応じて課題解決するためには、今の圏域ごとの会議では範囲が広すぎるので、校区毎に開催するなど、地域ケア会議のあり方を検討していただきたい。また、地域包括ケアの深化・推進を図るためには生活支援コーディネーターを増やしていく視点も必要だと思う。

⇒市内全域を対象とする地域ケア代表者会議において、地域の課題解決を図る範囲として圏域全体では広すぎることや、生活支援コーディネーターの現状の4人では、人数的に厳しいといった声をお聞きしているので、今後検討させていただく。

○フレイルについて、言葉を知らない人についてはわかりづらい文章となっているので、文章中に補足説明があったほうがいい。

⇒ご意見を参考に検討する。

○施策の展開の各項目について、8期と9期の違いがわからないので、新たな取組については印をつけるなどした方がわかりやすいと思う。

○重点課題や施策の方向の文言が変わった部分については、現状と課題、今後の方策若しくは具体的取組がなにかしら追加や変更がないとおかしいと思うので、文章を整理したほうがいい。

⇒変更した内容がわかるように、文言の追加・修正を検討する。

○具体的取組にエンディングノート作成事業が複数出てくる。新規事業ということだが、作成するだけでなく、今後はエンディングノートを活用するための支援をしていくのか。

⇒R5に作成するため、現状作成事業で掲載しているが、R6からは活用について検討していくので、事業名も変更予定である。

○介護人材確保について、記載の項目が具体的取組になっていない。介護人材の確保支援とは具体的に何をやるのか。今後の方策に介護現場の魅力発信とあるが、具体的取組にはそういった事業が入っていない。みらいワークかごしまは介護に特化したものではない。今後の方策や具体的取組の記載内容について、もう少し具体的な内容にしていただきたい。

⇒今後の方策や具体的取組の記載内容がより充実した方向になるよう検討する。